



学校だより

1月号

横浜市立大道小学校

令和2年1月7日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 加藤 和之

「願い」

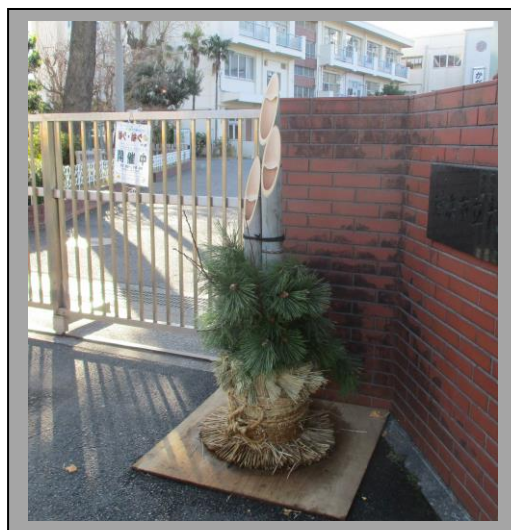
穏やかな新年を迎えました。令和2年のスタートです。あけましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしく願いいたします。皆様にとって、今年が幸多き年になりますよう、お祈り申し上げます。

年末には、正門の両側に立派な「門松」が飾られました。毎年「ふるさと大道村」の皆様が、手作りで正門を飾ってくださっています。

この竹の「切り口」にある「節」の線がつくる形が、笑った時の「口」の形になるように切ってくださいました。

「子どもたちみんなが、『笑顔』になるように。」という「願い」を込めてくださったとのことでした。

皆様の思いと、温かいご支援に支えられながら、今年も子どもたちの「笑顔」があふれる学校になるよう、私たちも「笑顔」で頑張りたいと思います。



大道小でみんなに親しまれている歌が、「校歌」以外にもあります。「大道っ子マーチ」です。朝会の後などには、この「大道っ子マーチ」に合わせて退場しています。委員会活動では、替え歌にして「手洗いの歌」などとしても使われています。私は、この「大道っ子マーチ」が大好きです。

歌詞の中には「大道っ子らしさ」が随所に織り込まれています。「宿題ときどき忘れてもよく遊ぶの忘れない」の部分などは、思わず「クッ」と笑ってしまいます。

誰でも元気におはよう	いつでも明るくこんにちは
どこでも笑顔でさようなら	うれしいあいさつ大道っ子
誰かと誰かの声が	いつでも明るく響く
どこでも仲良く声合わせ	歌うみんなは大道っ子
宿題ときどき忘れても	よく遊ぶの忘れない大道っ子
うきうきみんなの学校で	つないだ手と手を握り
こどもの世界を広げよう	宇宙を夢見て

それと同時に、この歌には新しい時代にも変わらず大切にしたい「子どもの姿」や、「こういう学校でありたい」という「願い」が込められていると思うのです。「元気に、いつでも、笑顔で、挨拶ができる子」「誰かと誰かの（みんなの）声が、いつでも明るく響く学校」「うきうきする学校」「子どもの世界が広がる学校」「大きな夢がもてる学校」などです。これは、学校教育目標「いきいき学び 輝く大道っ子」にもつながります。

保護者・地域の皆様、職員にとって、「子どもの『よりよい成長』を！」という「願い」は同じです。今年も皆様と手を携えながら、子どもたちを育てていけたらと思います。